

PLATFORM **SQUARE** プロジェクトのご紹介

- ① プロジェクトの背景・狙い
- ② プロジェクトの特徴 ～ 3つの間違い探し
- ③ ちよだプラットフォームスクウェアの概要
- ④ プロジェクトの現状・課題と将来展望

①

プロジェクトの背景・狙い

不活性な公的施設を核とした中小ビル連携による地域の再生・活性化

千代田区の全体像・地域的な特徴



- 面積／11.64平方キロメートル
 - ・一番大きい区は大田区で59.46平方キロメートル、一番小さい区は台東区で10.08平方キロメートル。
 - ・東京都23区の中では、下から5番目の大きさです。
 - ・区の面積の約12パーセントを占める皇居(1.42平方キロメートル)

- 人口／22,997世帯・43,660人（平成17年10月1日現在）
 - ・昼間人口：853,382人 昼夜間の格差が20倍以上

人口 国勢調査

	平成17年10月1日	平成12年10月1日
昼間人口(千代田区)	853,382人	855,172人
昼間人口(東京都)	14,977,580人	14,666,899人
夜間人口(千代田区)	41,778人	36,035人
夜間人口(東京都)	12,576,601人	12,064,101人
世帯数(千代田区)	20,768世帯	16,285世帯
世帯数(東京都)	5,890,792世帯	5,423,551世帯

住民基本台帳

		平成17年10月1日現在	平成12年10月1日現在
人口	千代田区	43,660人	39,561人
世帯数	千代田区	22,977世帯	19,000世帯

千代田区の全体像・地域的な特徴

👉 神田の再生・活性化：特色ある街々の中でどのような機能・役割を果たすか？



九段・飯田橋

- ・法政大学、東京理科大学など数多くの教育機関が集まる文教地区
- ・都内屈指の高級住宅街

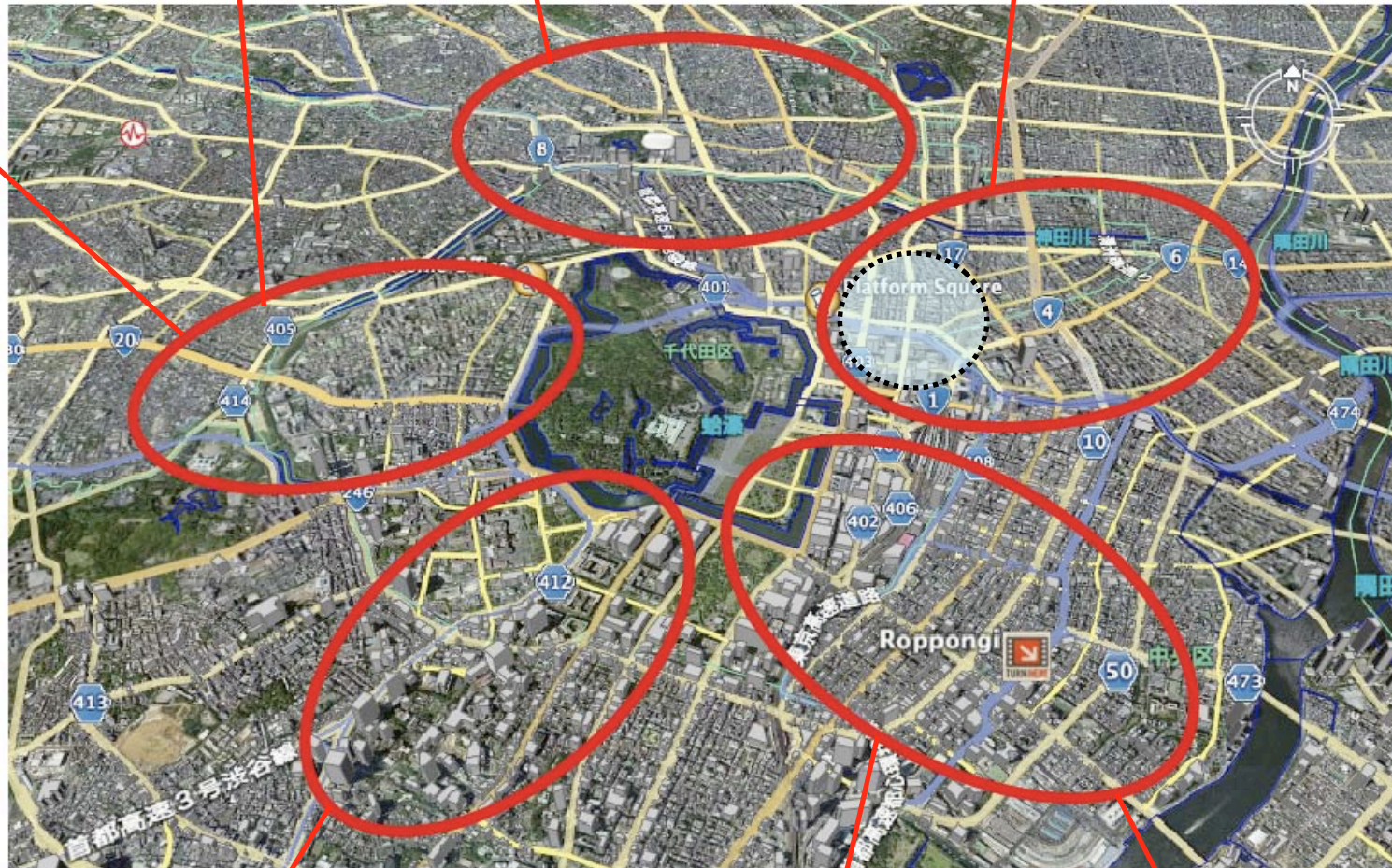
お茶の水・神保町

- ・明治大学を核とする学生街
- ・古書店街、楽器・スポーツ用品街

神田・秋葉原

- ・江戸情緒を感じさせる老舗が多い
- ・世界で最も刺激的なデジタル文化のまち

市ヶ谷・麹町



永田町・霞ヶ関

- ・三権が集中する国権の中枢

日比谷・有楽町

- ・有名企業の本社が立ち並ぶ経済の中枢
- ・高級ブランドの旗艦店が集積

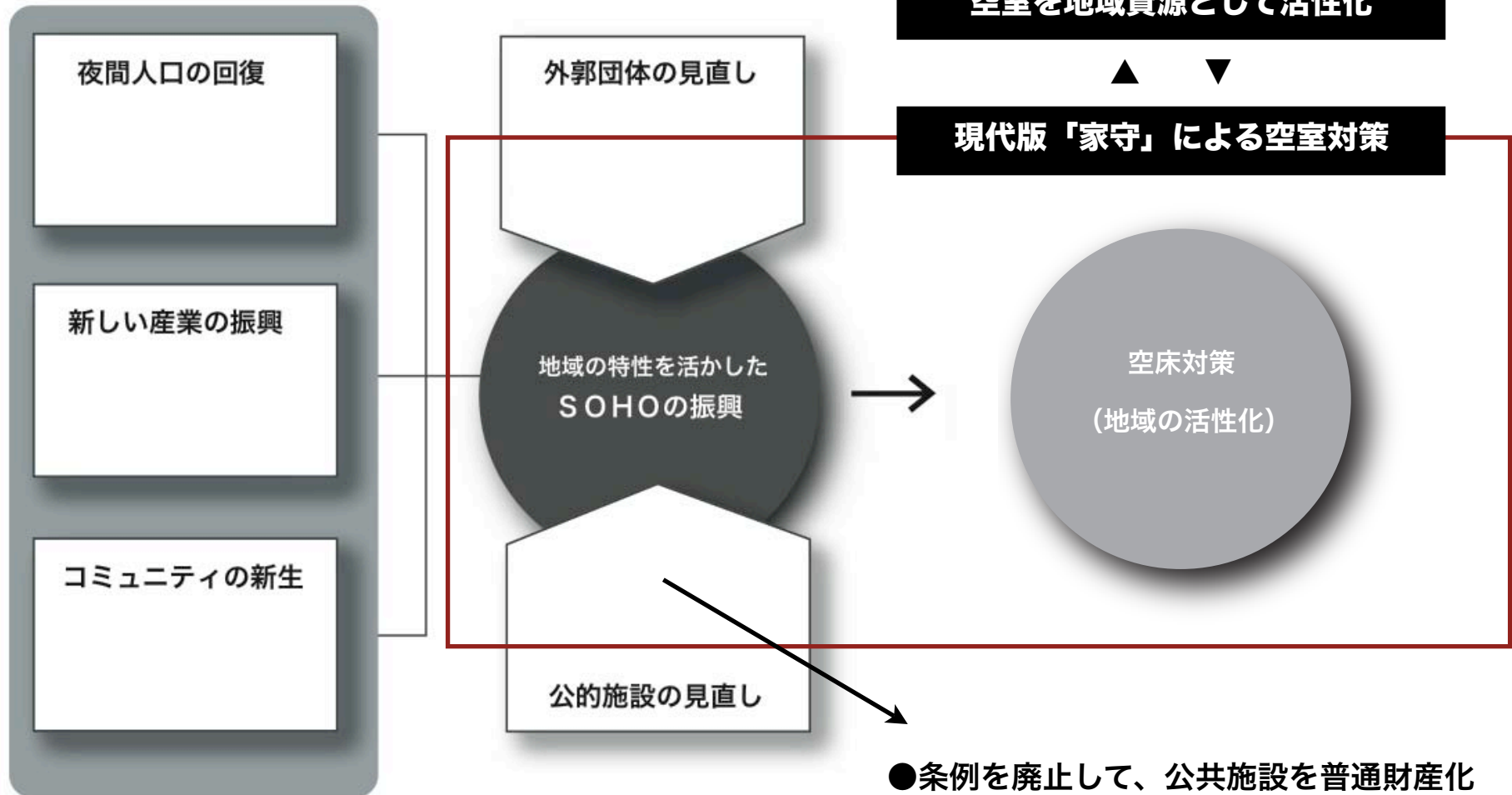
丸の内・大手町

神田の再生・活性化：官民協働による「SOHOまちづくり」の推進



☞ 先行事例を踏まえ、不活性な公的施設の再生に現代版「家守」の手法を活用
(外郭団体の機能・役割の見直し、再編・統合)

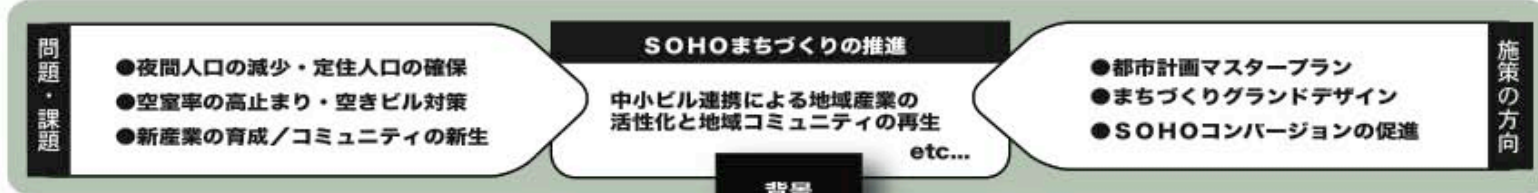
☞ 千代田区の課題



- 条例を廃止して、公共施設を普通財産化
- 用途を限定して、RFPにより物件を貸付

「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

☞ 不活性な公共施設を「SOHOまちづくり」の総合拠点として再生



背景

【名称】	中小企業センタービル
【所在地】	千代田区神田錦町3-21
【敷地面積】	1,303.09 m ²
【建築面積】	810.19 m ²
【延床面積】	5,711.61 m ²
【建築年月日】	昭和56年2月16日
【構造】	鉄筋コンクリート造

区有施設を有効活用して「SOHOまちづくり」を展開

千代田区のステイタスとブランドイメージを活かし、ナレッジワーク系のSOHOが集積する人と情報の交流拠点を創出します。

SOHOエージェントとの連携により、施設利用者として公的機関や大企業を顧客とするナレッジワーク系のSOHOを集積します。施設を拠点として情報技術・知識産業分野に従事するSOHOのネットワークを可視化することで、様々な新しいプロジェクトやベンチャービジネス、コミュニティビジネスが活発に生み出される土壌を育み、まちの活性化を担う新たな人材の幅広い裾野を形成します。

都市型SOHOの理想的なワークスタイルを支える高質なファシリティを安価に提供し、独立・起業のハードルを引き下げます。

独立・起業の準備段階から施設を卒業するに至るまでのアーリーステージのSOHOの施設ニーズにきめ細かく対応したフレキシブルなオフィスシステムを実現します。個々のSOHOが占有するスペースを規定し、常時使用しない空間や設備を共同化することで、「小さく借りて大きく使うオフィス」として、大企業と比べても遜色のない高質なファシリティを安価に提供します。

産学連携や成長段階に応じた各種支援サービスの提供を通じて、SOHOのベンチャービジネスやコミュニティビジネスへの発展を支援します。

大学・施設利用者・協力企業等とのコラボレーションにより様々な産学連携プロジェクトを展開します。また、誘致したSOHOエージェントをはじめ、様々な専門分野の知見・経験を有するコンソーシアムのメンバーが、営業・PRや資金調達などSOHOの成長段階に応じた様々な支援サービスを提供し、プロジェクト・コーディネーター、ビジネス・インキュベーターを手掛けます。

「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト



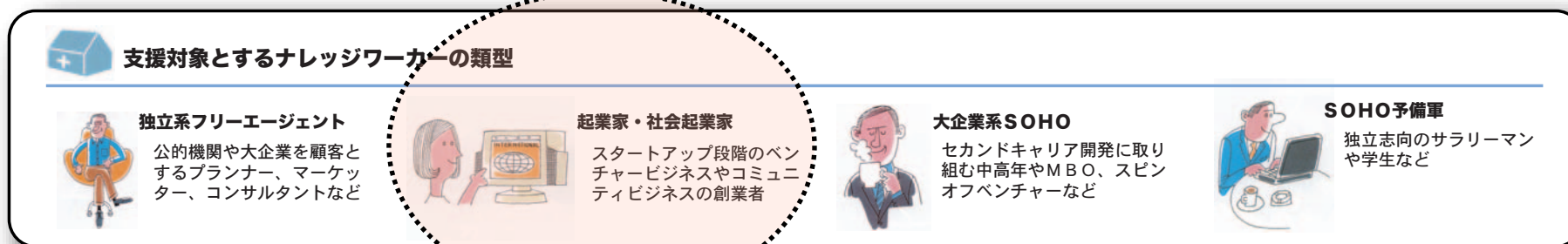
👉 集積対象とする事業者の類型と展開シナリオ

[地域資源、歴史的・文化的背景]

- 神田地区は江戸文化・都市のダイナミズムを支えた職人街（鍛冶町、鍋町、紺屋町、等々）
 - 旗本・武家屋敷には多くのサムライ（専門士業）が集積
 - 情報・メディア産業の集積地 = ニューヨーク「SOHO地区」との類似性
（シリコンバレー型ではなく、シリコンアレー型）
- 👉 コア・ターゲットは、大丸有・秋葉原を支えるインディペンデント・コントラクター



現代版の「職人」像：



▲ 連携・協働 ▼

中小空きビル活用の施策展開を効率的・効果的に推進

千代田区内外のナレッジワーカーが拠点に集積し、連携・協働を展開
集積するナレッジワーカーのホームオフィスやこれまで拠点としていたスモールオフィスは多くの場合、区外に存在。

域内のホームオフィス (HO) の開発・供給を促進
「SOHOまちづくり」を軸としたシティプロモーションを展開し、近隣のSOHO物件の情報などを発信。

区外に居住していたSOHOが域内に流入・転入を開始
インターネット上のプラットフォームにより近隣SOHOと拠点施設のファシリティなどの融合的な利用形態が定常化。

中小空きビルが地域資源として活性化され、SOHOまちづくりが加速
成長したベンチャービジネスやコミュニティビジネスが施設の利用段階を卒業し、近隣の空きビルへ転出。

中小ビル連携による地域産業の活性化と地域コミュニティの再生が具現化
フィジビリティスタディを経たSOHOエージェントが現代版「家守」として新たな空きビル活用を自律的に展開。

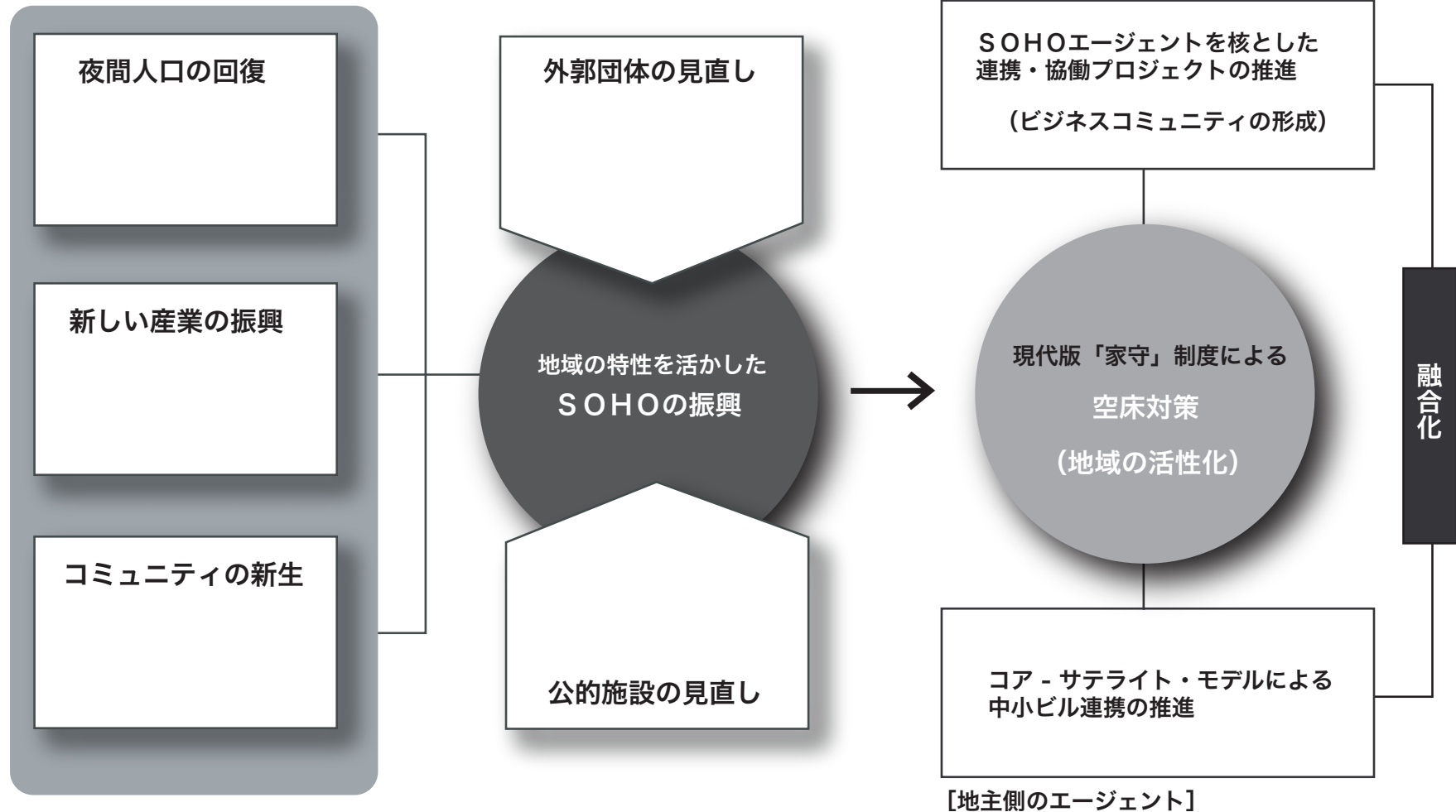
「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト



👉 現代版「家守」に求められる2つの基本的な機能・役割

01

👉 千代田区の課題



「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

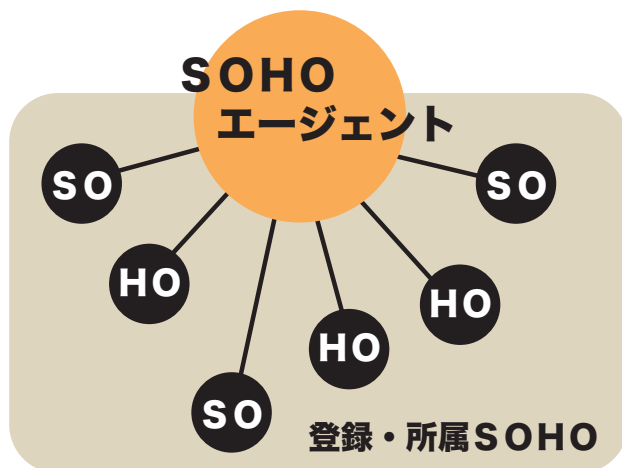
☞ 店子の世話役 = 「悉皆屋」としてのSOHOエージェント

>> 社会起業家（親方？）を中心とする地域プロジェクトの編成



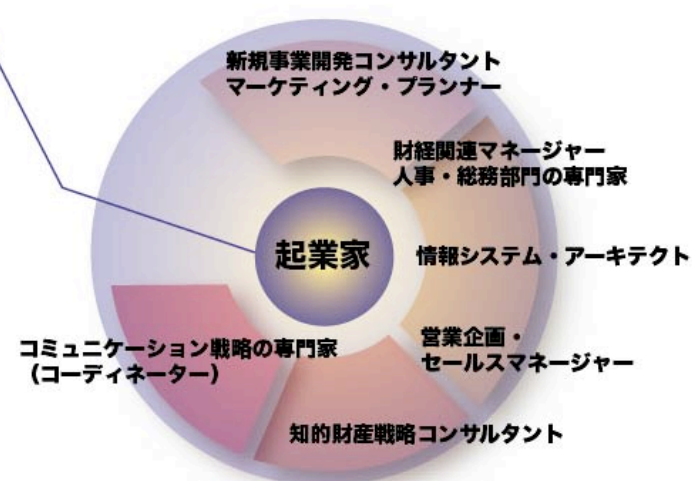
【初動段階】

ビジネス・マッチングなど、SOHOに対して様々な支援サービスを提供する複数のエージェント事業者を誘致します。



誘致するSOHOエージェントに自社に登録しているSOHOの中から将来性のある事業者を推薦してもらい、施設利用者として集積します。

起業家（プロジェクト）を中心として
様々な分野のナレッジワーカーが協働



- 関係者各々が自律的・主体的にプロジェクト活動に参画・協働
- 「支援する／支援される」→ 水平的な互惠（協働）関係を醸成
- 事業計画・成長性ではなく、「連携・協働の可能性」を重視
- 「顔の見える関係」を地域に定着化

「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

👉 「悉皆屋」 → 地域に根ざした新産業としての現代版「家守」



SOHOエージェントの経営基盤の安定化・高度化

〔拠点施設に於ける中小空きビル活用のモデル開発と運用〕

SOHOエージェントに対し、ファシリティ・マネジメントなどのノウハウ、「家守」業のフィジビリティ・スタディやテスト・マーケティングの機会を提供するとともに、SOHOエージェントを核として、区・公社、マネジメント事業者、協力機関・協力企業等が連携・協働し、施設利用者に対する各種支援サービスを提供します。

株式会社RCF

→ 創業資金提供によるベンチャー支援等

NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター

→ コミュニティビジネスの立ち上げ支援

財団法人社会経済生産性本部「SOHOポータル協議会」

→ 各種情報提供・トラブル相談窓口サービス

NPO法人産業技術活用センター

→ 産学連携コーディネート、技術移転サポート

全国デジタル・オープン・ネットワーク事業協同組合

→ ビジスマッチング、プロジェクト・インキュベート

株式会社バリューアップ

→ SNS/ASP等を活用した各種情報交換・交流サポート

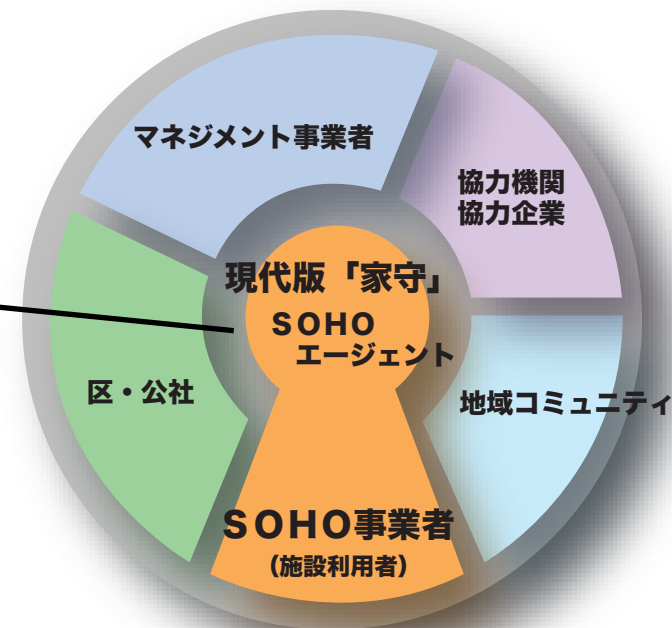
株式会社アデッセ

→ 弁護士・公認会計士など、専門家のネットワーク

電子商取引安全技術研究組合 (ECSEC)

→ EC分野の技術標準化・セキュリティ対策・人材育成等

その他 (計:13社)



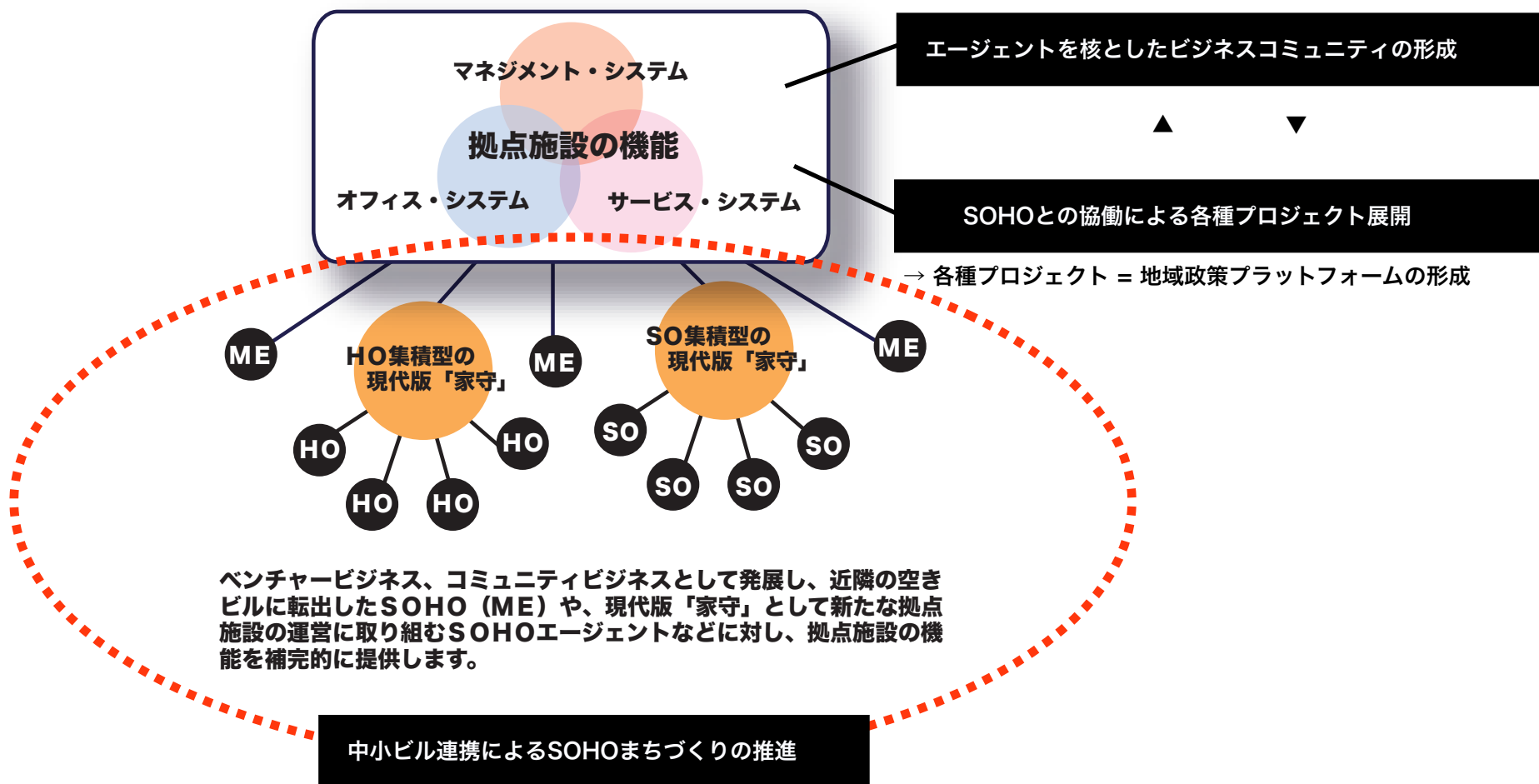
「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

👉 現代版「家守」による近隣中小ビルのコンバージョンと施設間連携



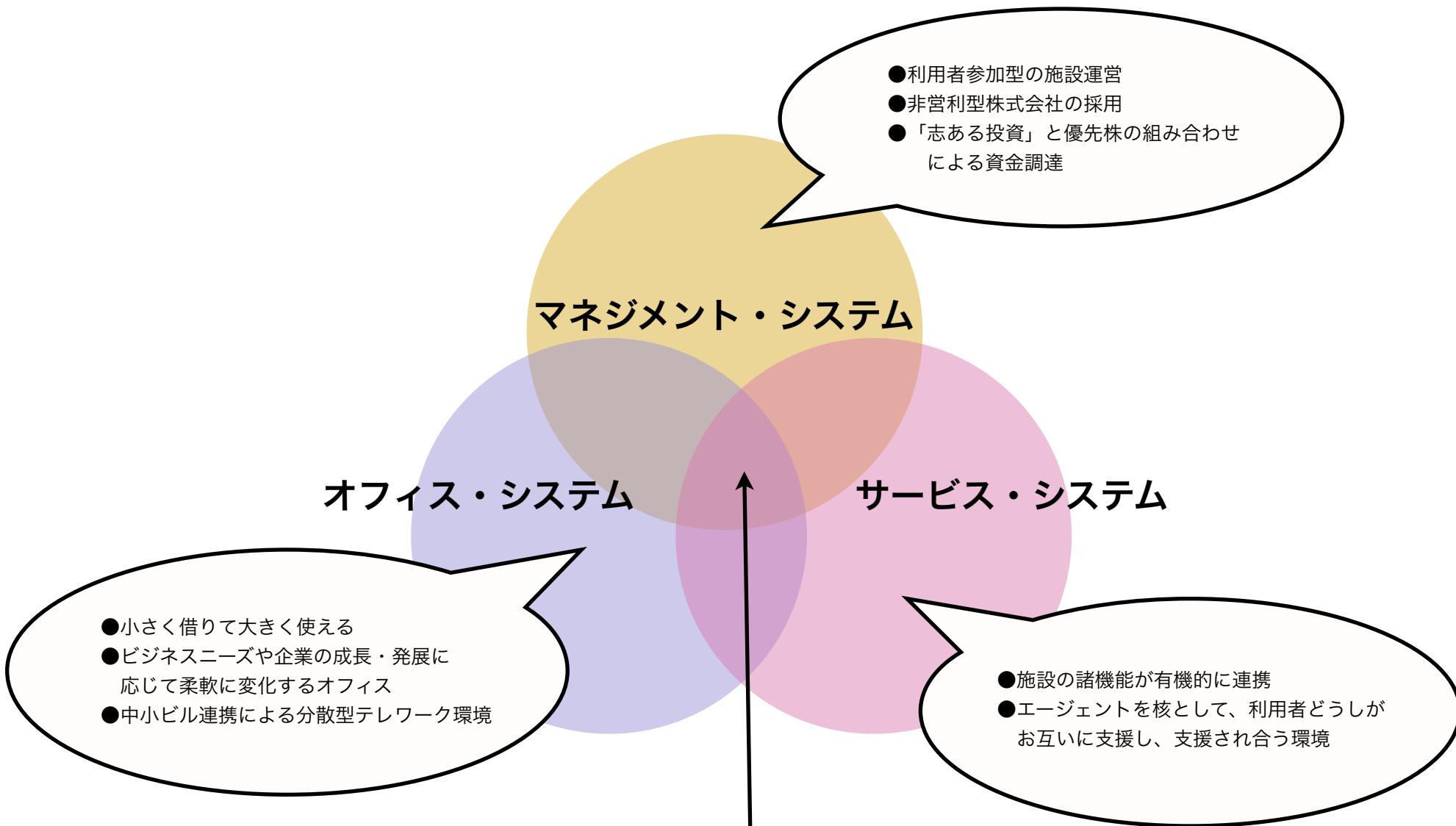
【 SOHOまちづくりの効率的・効果的な展開 】

新たな空きビル活用を担う現代版「家守」を育成・輩出します。



「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

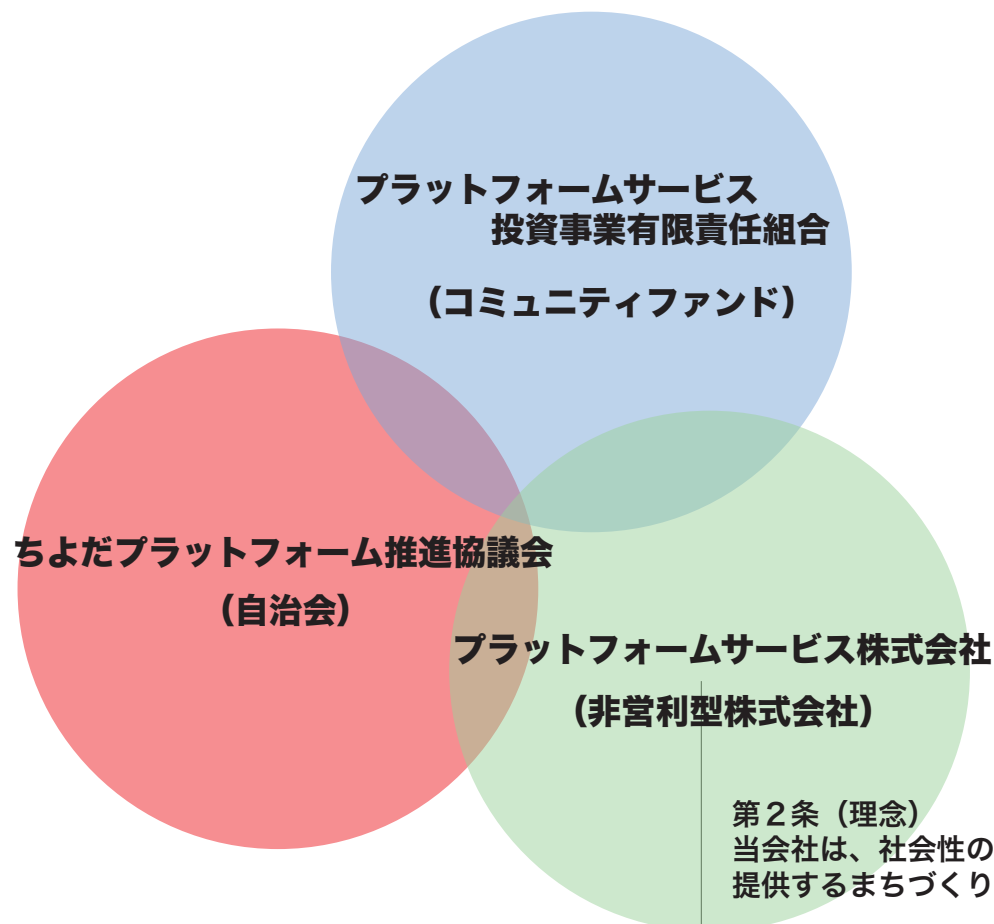
👉 産業振興・コミュニティ振興など、まちづくりの課題を一体的に解決する仕組み作り



産業振興・コミュニティ振興など、まちづくりの課題を一体的に解決する仕組み作り

「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

☞ 非営利型株式会社による公的施設のマネジメント >> 新たな地域経営モデルの創造



第2条 (理念)

当社は、社会性のある事業を展開することで、プラットフォーム機能を提供するまちづくり会社として社会の公器となることを理念とする。

第30条 (剰余金)

剰余金は、優先配当分を除き内部留保し、当社の理念遂行のために再投資するものとする。

第31条 (残余財産)

当社が解散した場合における残余財産は、以下のとおり分配する。

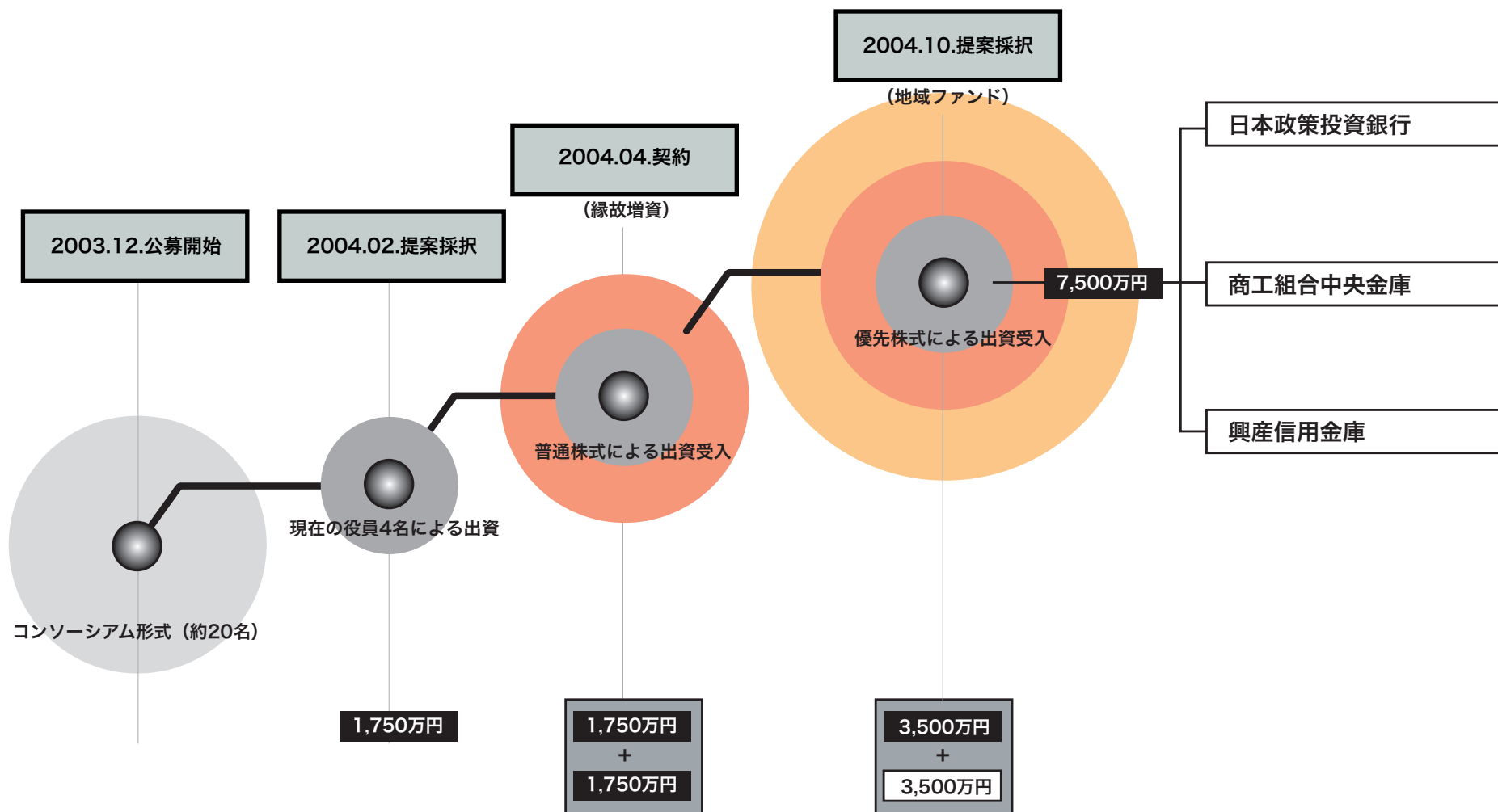
1. 資本金の額までは株主へ分配する。

但し、分配にあたっては、普通株主に先立って優先株主に分配するものとする。

2. 資本金の額を超える部分は、当社の理念に沿った団体に寄付するものとする。

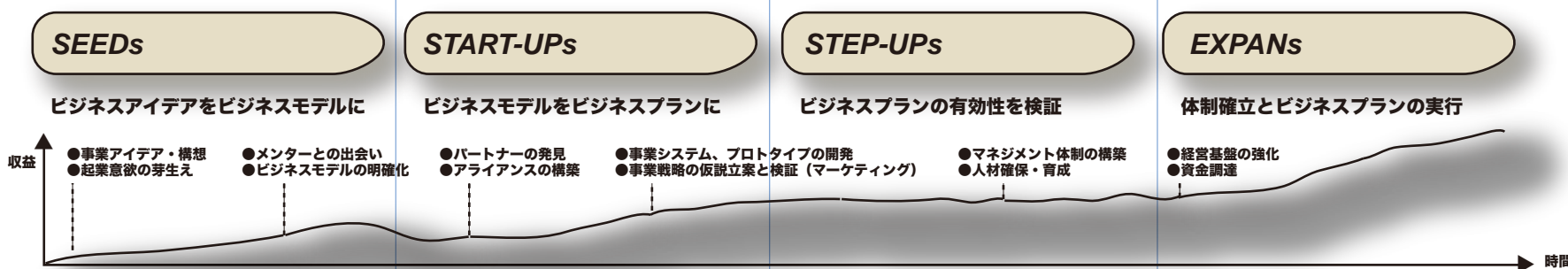
「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

👉 段階的な資金調達（志ある投資）



「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

☞ サービスシステム：連携・協働を通じた互恵的な関係財を（域内に）戦略的に形成




SOHOエージェントに期待される機能・役割

<p>人的交流、情報交配の場づくり</p> <p>オープンな施設環境が実現する日常的な情報交換に加え、シード段階のSOHOに対しては有識者や成功ベンチャーなどによる講演・セミナーや定期的な交流イベント等の開催を通じて良質な刺激に満ちた人的交流の場を提供し、事業テーマやビジネスモデルの明確化、専門能力の獲得・向上などに結びつく実践的な学習機会＝自己啓発の場を提供することが期待されています。</p>	<p>ビジネスマッチング・サポート</p> <p>インキュベーターやベンチャーキャピタルは起業家が既に踏み切った後の支援を提供する役割を担うものであり、重要ですがベンチャービジネスの創出には間接的にしか貢献しません。SOHOエージェントに求められるのは、SOHOの起業家としての第一歩に於ける負担を減らし、ベンチャーやコミュニティビジネスの創出と成功確率のアップに直接的に貢献することです。</p>	<p>プロジェクト・コーディネート</p> <p>ベンチャーキャピタルによるハンズオン支援ではビジネスプランの作成や経営スタッフの確保などは起業家本人が行うことが前提ですが、初期段階に於いてSOHOエージェントに期待される役割は、事業コンセプトの立案、市場調査・分析から関係者間でのナレッジの共有化に至るまで、支援というよりはむしろ事業主体に限りなく近いものとなります。 (但しあくまでも経営者の代わりにはなりません。)</p>	<p>プロジェクト・インキュベート</p> <p>ミドルステージに達し、施設の利用段階を卒業したSOHOとは退出後も一定の連携関係を保ちつつも、マネジメント事業者がパイプ役となり支援の中心的役割をビジネスインキュベーターやベンチャーキャピタルに移すことで、公的な性格を持つ本プロジェクトとの役割分担を明確化し、継続的かつ効果的な支援体制を構築します。</p>
--	--	---	--

SOHOエージェントとの連携・協働による各種サービスの提供

<p>キープレイヤー： ●年間40回以上の交流イベント</p> <p>ブレンディングセクター： ●年間60回程度のビジネストーク・セッション ●月2回程度の各種資格関連セミナー、スクリーニング (上記コンテンツのインターネットでの配信)</p>	<p>エージェント各社： ●ビジネスパートナーや販路の紹介など</p> <p>ディーワン、日本SOHO協会： ●会社登記に必要な諸作業のサポート、事業コンセプトの策定や商標登録、ビジネスモデル特許等の取得支援 ●施設利用者どうしの相互扶助を促す同業種・異業種連携、産学連携のコーディネート</p>	<p>ディーワン、コンソーシアム・メンバー： ●事業計画・収支計画・資金計画の策定サポート ●法務・経理・財務・人事等の基盤整備のサポート ●異業種連携や同業種による共同化の支援ならびに共同プロジェクトのマーケティング活動、SP/PR活動等、直接的で踏み込んだ業務支援</p>	<p>コンソーシアム・メンバー： ●インキュベーター、ベンチャーキャピタルの紹介</p> <p>各々の段階に於ける適切な各種相談サービスの提供 ・(財)社会経済生産性本部 ・(財)日本SOHO協会 ・(社)日本テレワーク協会</p>
--	--	--	--

区・公社との連携・協働による各種サービスの開発・提供

<p>各種情報の提供</p> <p>国・都・区や公的機関などの創業支援・SOHO支援策に関する情報の収集・提供、窓口紹介等。 近隣SOHO物件や地域コミュニティの活動などに関する情報の収集・提供、窓口紹介等。</p>	<p>SOHOへのアウトソーシング実施</p> <p>マネジメント事業者が実施する事業と公社事業との詳細な振り合わせを行い、施設利用者への業務のアウトソース（シティプロモーションの実施、各種セミナーの開催、各種相談サービスの提供等）をご検討頂けますと幸いです。</p>	<p>「家守」育成プログラムの開発・提供</p> <p> (社)日本テレワーク協会/マイクロビジネス協議会が実施する優良なSOHOエージェントの認定制度(MBA審査制度)などとの連携等により、キャリアカウンセリング、キャリアコンサルティング、コーチング、ファシリテーション、キャプテンシップ、プロジェクトコーディネート、プロジェクトインキュベート、プロジェクトマネジメント、ファシリティマネジメントなど、「家守」に必要とされる知識・ノウハウを体系化し、育成プログラムとして開発・提供。</p>
---	---	--

「ちよだプラットフォームスクウェア」の基本コンセプト

☞ オフィスシステム：連携・協働を創発させるプロジェクト・インキュベーター
 + 中小ビル連携モデルの開発（プラットフォーム・アネックス）



SEEDs	1名での登録・利用 15,000円/月～	START-UPs	1～3名まで 38,000円/月～	STEP-UPs	1～6名まで 58,000円/月～	EXPANs	10名まで 120,000円/月～
--------------	-------------------------	------------------	----------------------	-----------------	----------------------	---------------	----------------------

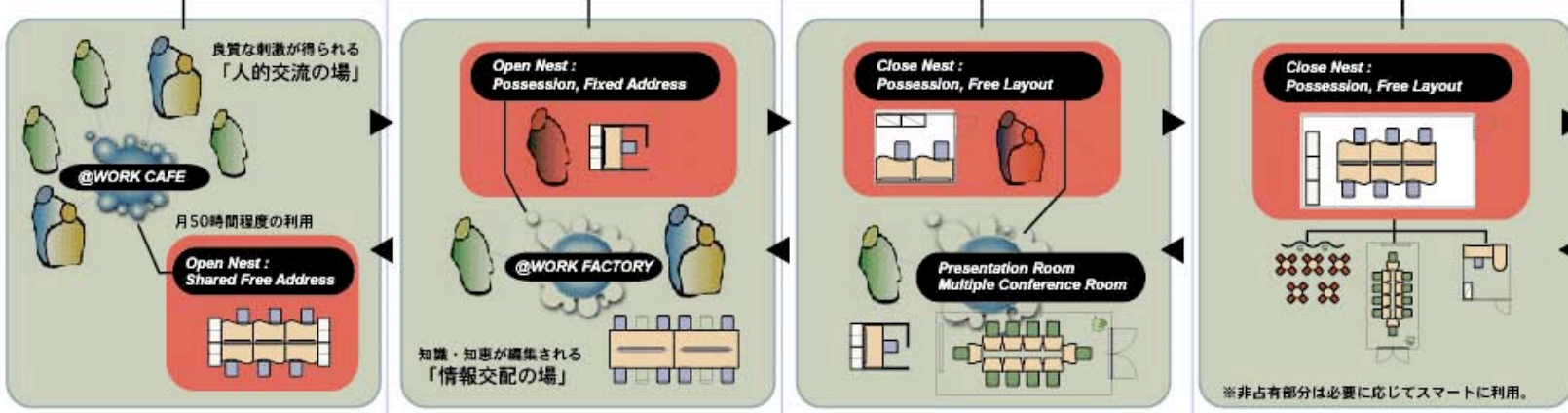
- 独立・開業のコストを低減
施設サービスに私書箱サービスと電話転送サービスを組み合わせることにより、月額3万円円でレジワーカーとして独立し、事業所の登記・開業が可能。
- ホームオフィスの補充機能として
クリエイティブなど高度な集中が必要な仕事はホームオフィスで行い、打ち合わせや共同作業などはラウンジやオープンネットで行うなど、仕事の内容に応じてワークプレイスの切り替えができます。
- 営業拠点・立ち寄りオフィスとして
大企業・官公庁を顧客に持つ地方・近郊の企業にとって、営業拠点・立ち寄りオフィスとして最適なロケーションを提供します。

- 占有スペースを確保し、フルタイムで施設を利用
オープンネットに占有スペースを確保することでフルタイムでの施設利用が可能になります。
- フリーアドレスを利用して登録スタッフを増員
SEEDsと同等のサービスが利用できるスタッフを3名まで割引料金（月額6,000円/人）にて登録できます。
- オープンかつセキュアなビジネス環境
オープンネットに於ける様々な文書の流通・管理などはICカード制御による各種情報機器、電子ファイリングシステムやセキュリティ機能を具備したキャビネット等を利用して行い、大事な書類が他人の目に触れることを防ぎます。

- 施設が可能な個室＝クローズドデスクを確保
施設が可能な個室を確保し、スタッフ6名（EXPANsの場合、10名）まで登録・利用できるオフィス空間として占有できます。
- 会議室等の施設サービスを割引価格で提供
プレゼンテーション・ルーム、プロジェクト・ルーム、大・中・小の会議室を、一般ならびにSEEDsに比べて割引価格で提供します。（EXPANsionsも同様）
- 各自のPC端末のセキュリティも一体的に確保
各自で持ち込んだPC端末に認証ソフトを組み込むことで、IDカードによる端末へのアクセスや履歴管理、ファイルの暗号化、各種のASPへのシングルサインオン環境を実現します。（EXPANsionsも同様）

- 小さく借りて大きく使う、柔軟なオフィスシステム
受付や会議室、ミーティングスペース、喫煙コーナーなど非占有部分をなるべく共同化することで、低価格でありながらも高質なファシリティを実現。短中期の期間貸しに対応したプロジェクトルームやストックルームなどを組み合わせることで、大企業と遜色のないオフィス環境を安価に利用することができます。
- ユビキタスなワークプレイス
会議室やカフェなどの施設内はもちろん、自宅やホットスポットなど施設外からでもセキュアに自社のワーク環境にアクセスが可能。登録スタッフどうしでファイルを共有するなど、いつでも、どこからでも自己のビジネスをコントロールすることができます。

施設利用者どうしの交流・連携・協働をサポート



SOHOはシード段階からスタートアップ、アーリーステージを経て拡大期へと直線的に成長していくわけではありません。SOHOビジネスの成長過程には様々な試行錯誤があり、スピーディーな環境への適応が必要とされるため、ステップアップ段階にあったSOHOがシード段階へと逆行する場合も少なくありません。

このような流動的な変化を常とするSOHOビジネスにも柔軟に対応し、家具やオフィス部材などの廃棄による無駄を極力省くため、本提案では家具やオフィス部材のレンタル方式を取り入れ、所有する家具・オフィスから利用するオフィス・システムへのパラダイム転換を先導します。

施設利用者全員に、日本SOHO協会が総務省の施策の一環として発行しているSOHO事業者の認証カード「SOHO ID」と商工会議所が推進するフェリカが一体化したIDカードを発行

登録者向けサイト: SOHO-PORTAL.ORG

IDカードの発行とともに、総務省が日本SOHO協会に委託して仕様を策定し、オープンソース形式で公開している「SOHO DIRECTORY」準拠の事業者データベースに施設利用者の各種情報を登録

施設利用者はセキュアなブロードバンド・ネットワークのもとで各社独自のワークプレイスを構築できるとともに、コンソーシアム・メンバーにより提供される様々な情報サービスやアプリケーション・サービスをシングルサインオン環境により活用

- SOHOポータルサイト
- 受発注支援システム
- e-ラーニング・システム etc...

SOHOビジネスのプラットフォームからeコミュニティ・プラットフォームへ

②

プロジェクトの特徴

3つの間違い探し



① ベンチャー支援施設（インキュベーション施設）

>> まちづくりの総合拠点

（官民協働による地域経営のプラットフォーム）

② 千代田区から運営を委託（指定管理者）

>> （外郭団体を経由して）区から借り受け

（10年間の定期建物賃貸借契約）

③ 役員報酬が無い

>> 役員賞与が無い

（非営利型株式会社）

プロジェクトの特徴

👉 インキュベーション施設 >> まちづくりの総合拠点



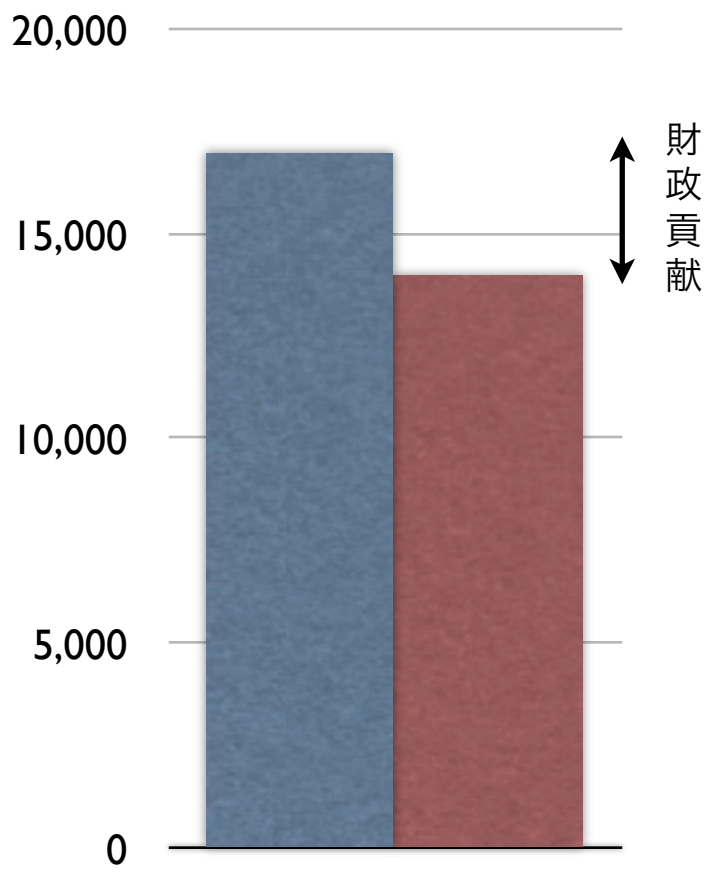
	インキュベーション施設	ちよだプラットフォームスクウェア
目的	経済開発、産業振興	地域の再生・活性化
対象	成長志向のベンチャー企業	問わない
条件	入居審査、入居期限	現代版「家守」= 世話役の推薦
支援	専門家による支援	ビジネスコミュニティを基盤とした相互扶助
予算	税	施設利用料

プロジェクトの特徴

☞ 運営委託（指定管理者） → 借り受け



- 直営
- 指定管理者



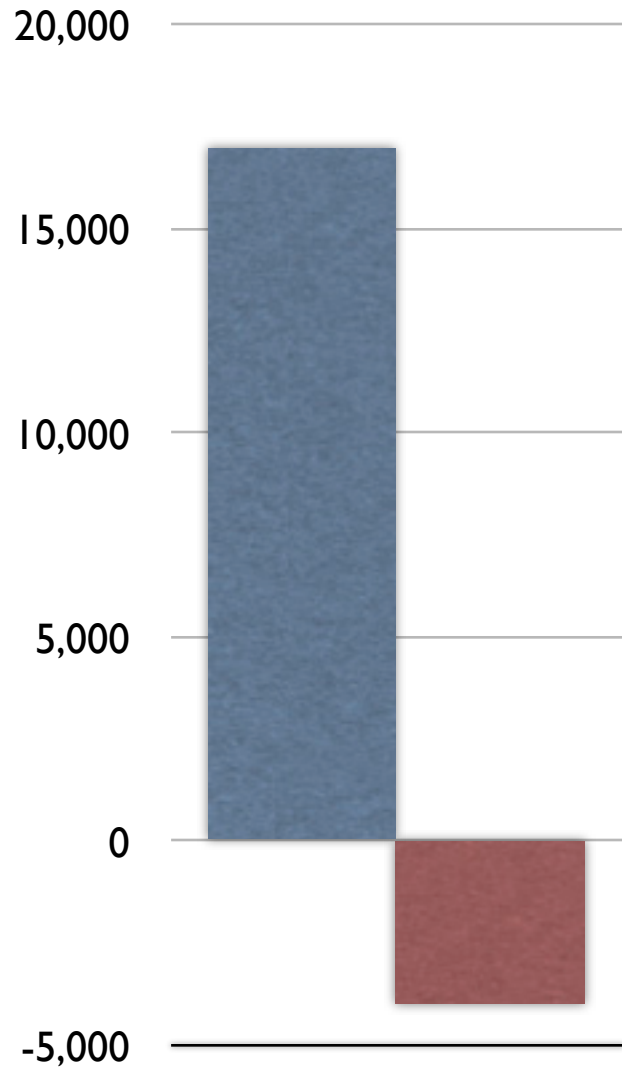
様々な民間手法、経営努力

プロジェクトの特徴

☞ 運営委託（指定管理者） → 借り受け



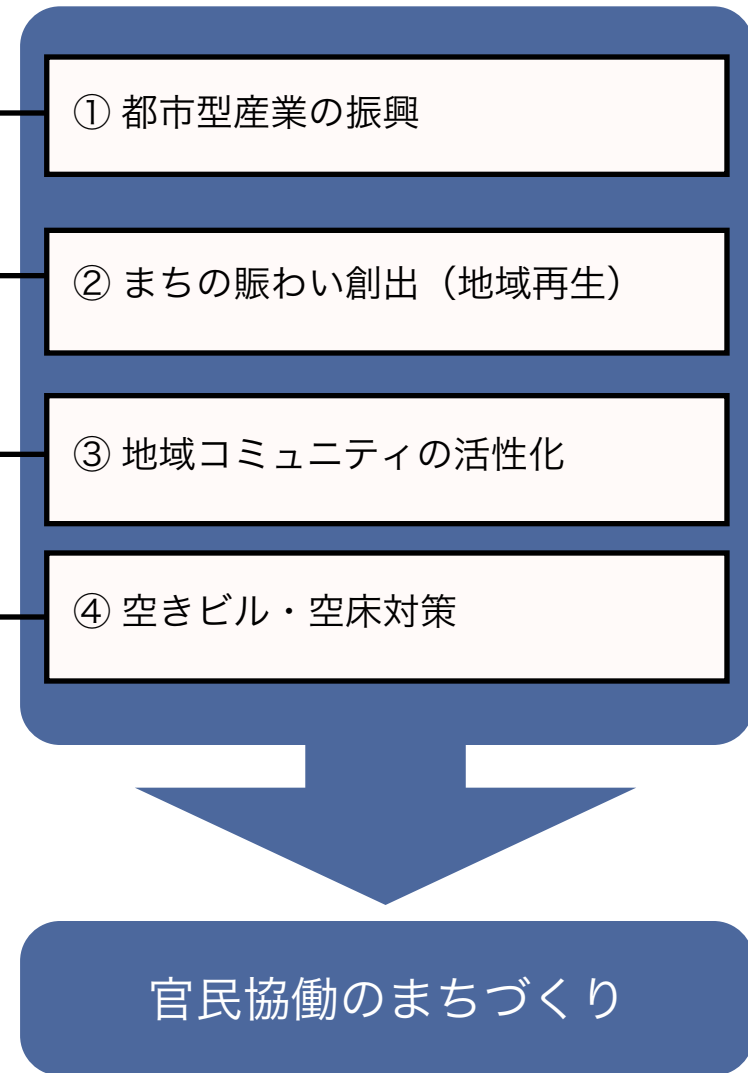
■ 直営
■ 賃貸借



↑ 財政貢献
↑ 事業収入

+

波及効果
↑ 事業目的



プロジェクトの特徴

👉 役員報酬がない → 役員賞与がない



	通常の株式会社	非営利型株式会社 (NPC)
理念	経営方針	定款による規定
剰余金	株主配当・役員賞与	理念追求の為に再投資
残余財産	分配	寄附

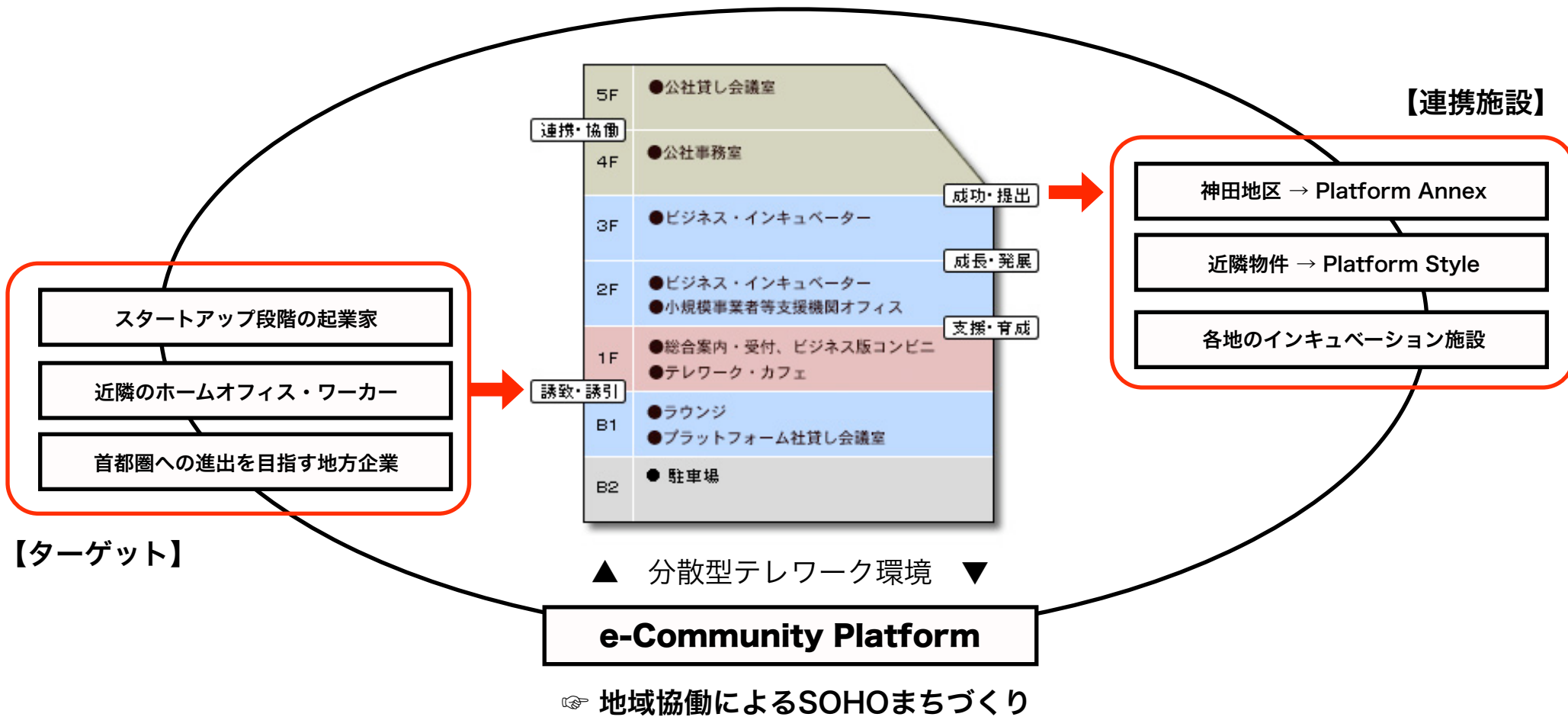
③

ちよだプラットフォームスクウェアの概要

プロジェクトの現状と成果

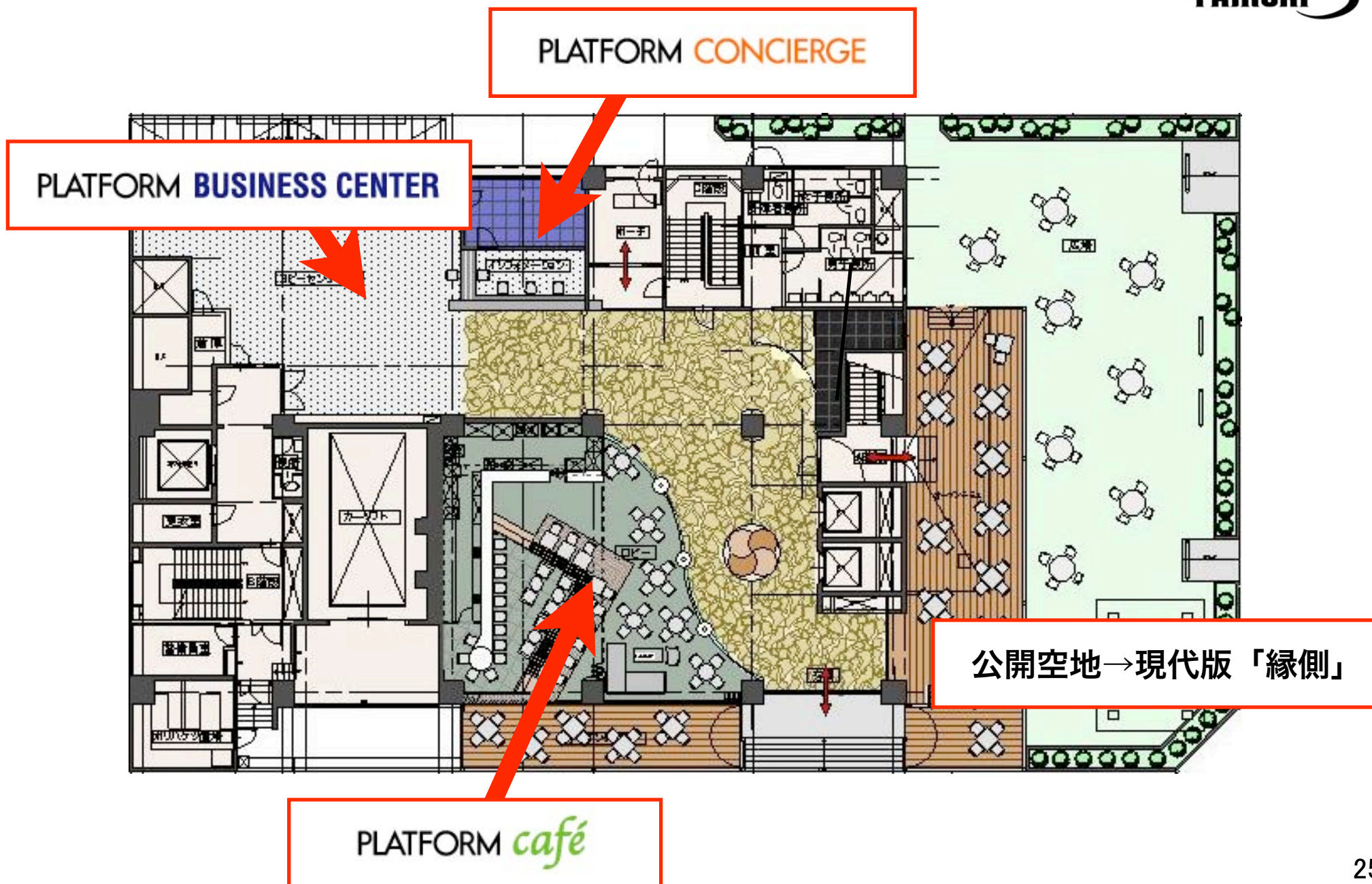
「ちよだプラットフォームスクウェア」施設概要

👉 施設環境全体を有機的に連携させ、効率的・効果的な分散型テレワーク環境を実現



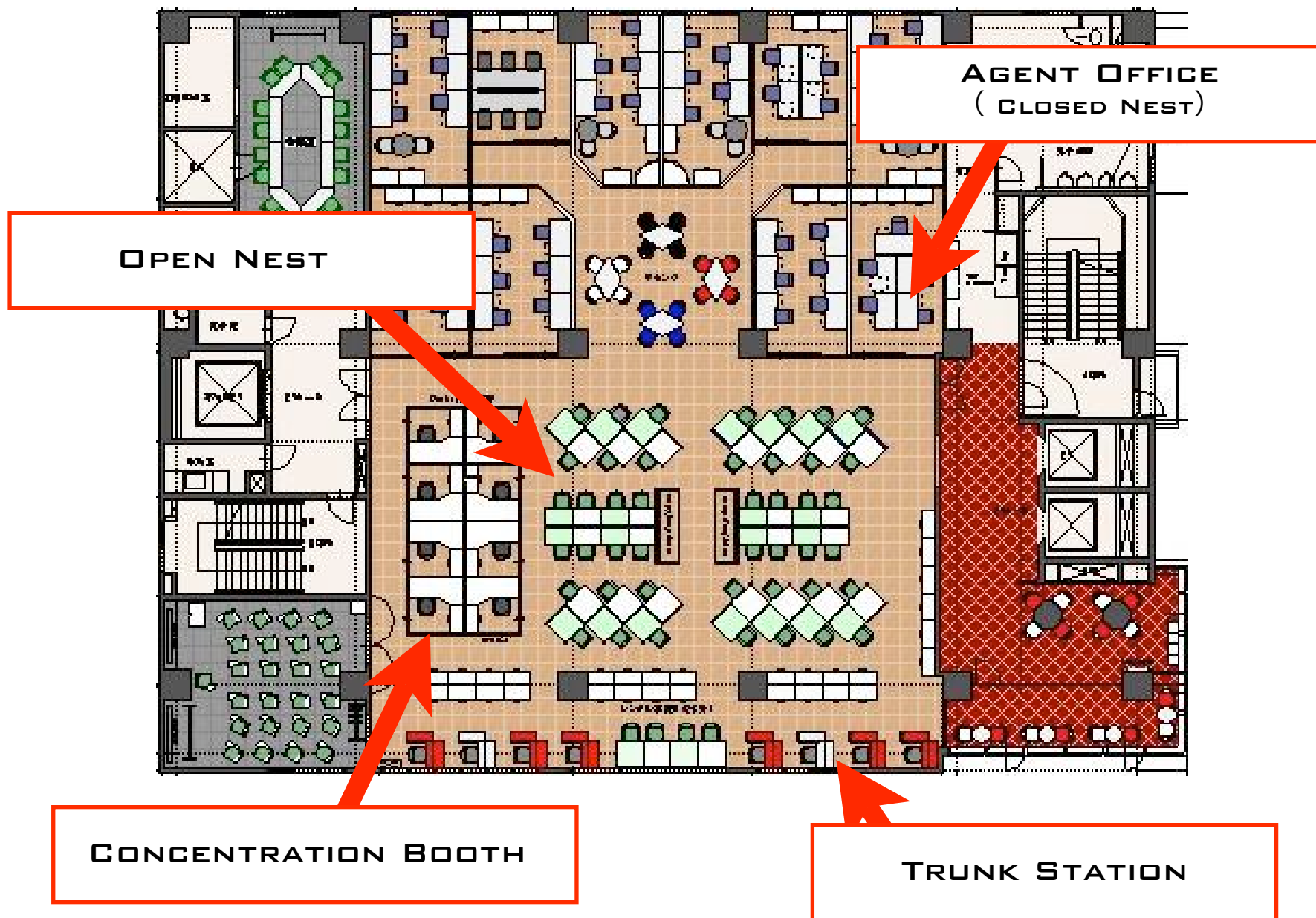
「ちよだプラットフォームスクウェア」施設概要

☞ 1F：人・情報が集まる「交流の場」



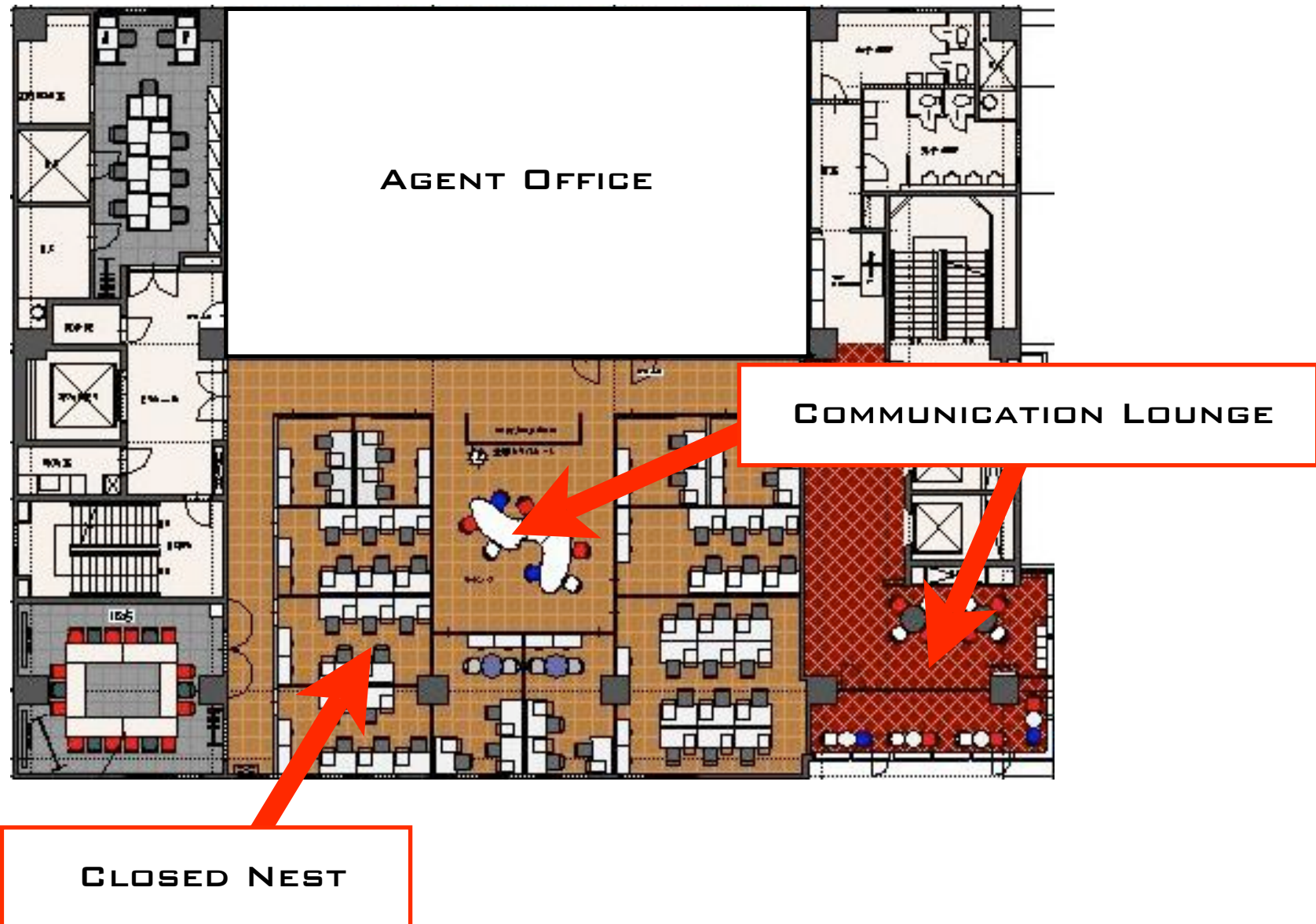
「ちよだプラットフォームスクウェア」コンセプト・施設概要

👉 2F : 「連携・協働の場」



「ちよだプラットフォームスクウェア」コンセプト・施設概要

👉 3F : 「連携・協働の場」



④

プロジェクトの現状・課題と将来

施設間連携と郊外型施設開発

現状・今後の課題と展望

☞ 区長報告 (2005.12.19. 第2次SOHOまちづくりの展開に向けて)



全国的にも例の無いユニークな施設・運営形態による国内最大規模のSOHO事業者の集積拠点として注目を集め、ビル単体での有効活用に成功。

地域の活性化に向けて「SOHOまちづくり」は新たな段階へ――。

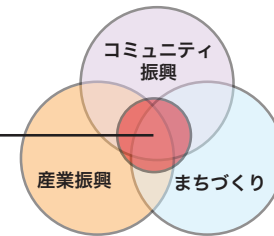
- ▶ **求心力の維持**、持続的・安定的な運営管理体制の確立、
- ▶ ちよだプラットフォームスクウェアを中小ビル連携の中核拠点施設（コア）と位置づけ、抜本的な空ビル・空床対策事業として **第2次「SOHOまちづくり」** を展開。

【基本的な考え方】

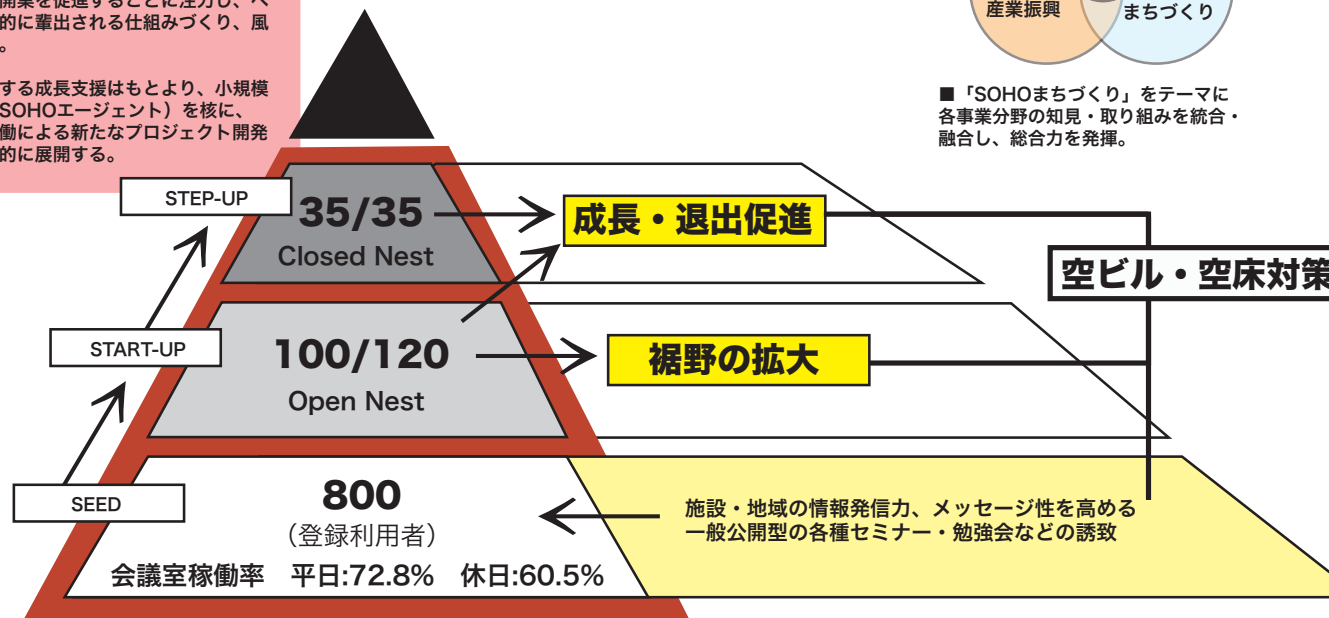
ハイリスク・ハイリターン型の研究開発型ベンチャー企業等に対する成長支援などは様々な政策ツールを有する国・都道府県を支援主体とし、連携により実施。

神田の歴史的背景・地域特性を活かし、ミドルリスク・ミドルリターン、ローリスク・ローリターンなど、多様な形態の起業・開業を促進することに注力し、ベンチャー企業が自律的に輩出される仕組みづくり、風土づくりを推進する。

また、個別企業に対する成長支援はもとより、小規模事業者等支援機関（SOHOエージェント）を核に、企業同士の連携・協働による新たなプロジェクト開発に対する支援を重点的に展開する。



■ 「SOHOまちづくり」をテーマに各事業分野の知見・取り組みを統合・融合し、総合力を発揮。



2005.10.現在

現状・今後の課題と展望

☞ 区長報告 (2005.12.19. 第2次SOHOまちづくりの展開に向けて)



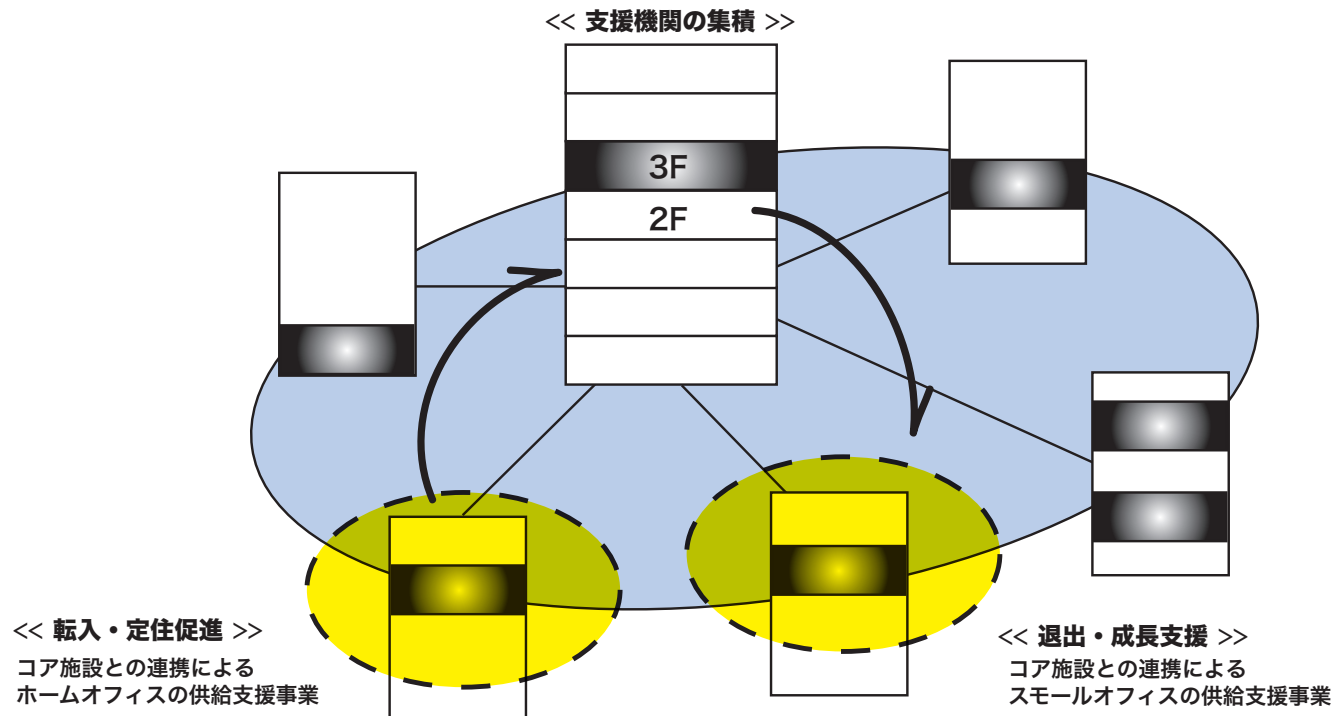
現在35区画あるクローズドネストは施設オープン以来、常にフル稼働の状況。
これまで17件 (うち内部移動8件) の入退出が生じているが、新規需要・オープンネストからの移動により、

空室にも短期間でスムーズに対応。

▶ 対応ノウハウのシステム化、域内共有化 による空ビル・空床対策事業の展開

▶ 近隣中小ビルへの退出・成功事例の創出 に向けて・・・

- ① SOHO支援機関との連携・協働による組織的・体系的なSOHO支援 (支援体制の構築)
- ② 受け皿となる良質な賃貸SOHO物件の供給 (抜本的な空ビル・空床対策、ビルオーナー支援)



現状・今後の課題と展望

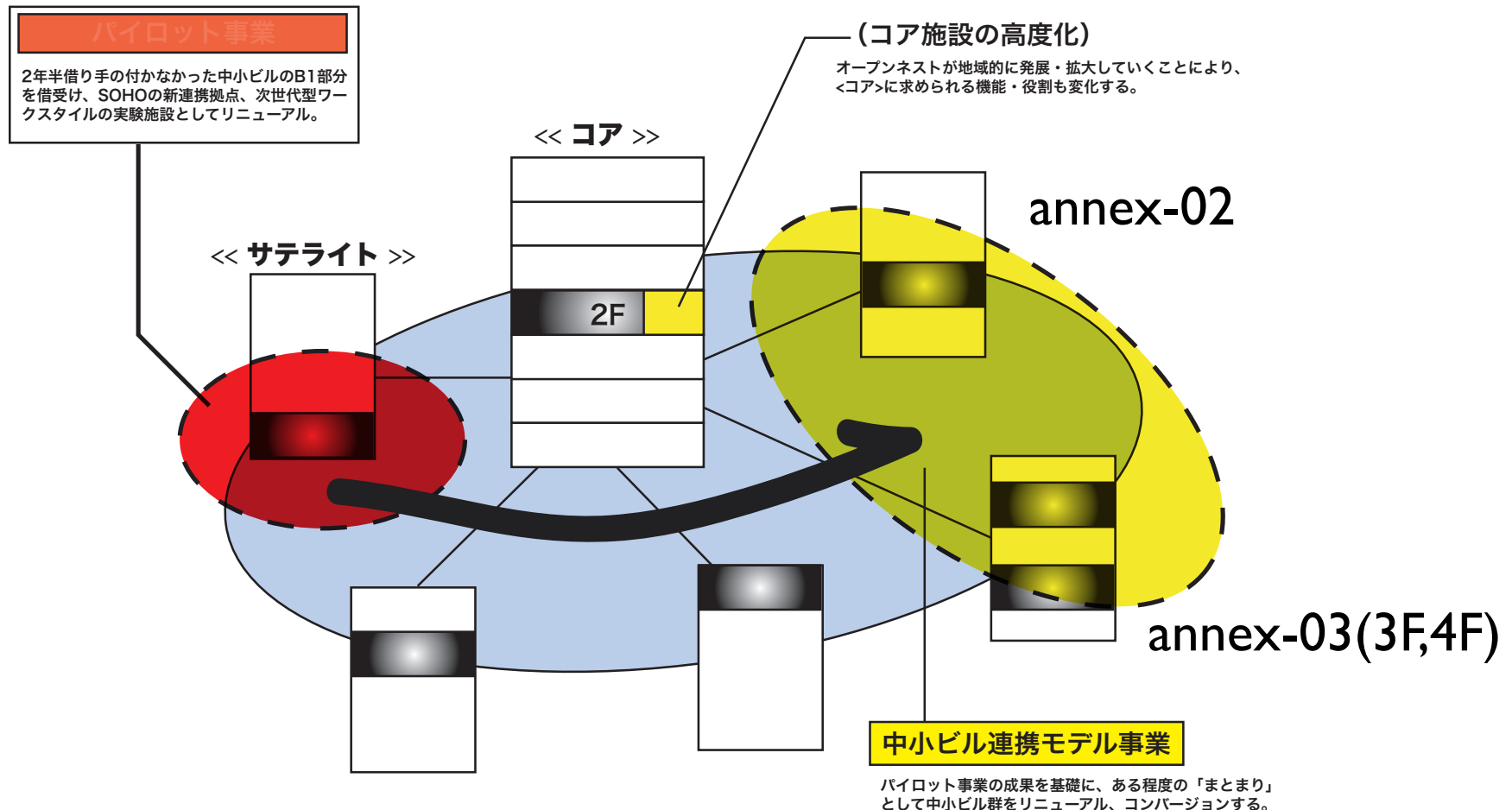
☞ 区長報告 (2005.12.19. 第2次SOHOまちづくりの展開に向けて)



現在、100/120事業所となったオープンネストの利用者。この集積規模を5倍、10倍に拡大し、地域的に幅広いSOHO事業者の裾野を形成する為、

▶ **コア-サテライト型の中小ビル連携モデルの確立** が課題。

annex-01



現状・今後の課題と展望

☞ 区長報告 (2005.12.19. 第2次SOHOまちづくりの展開に向けて)



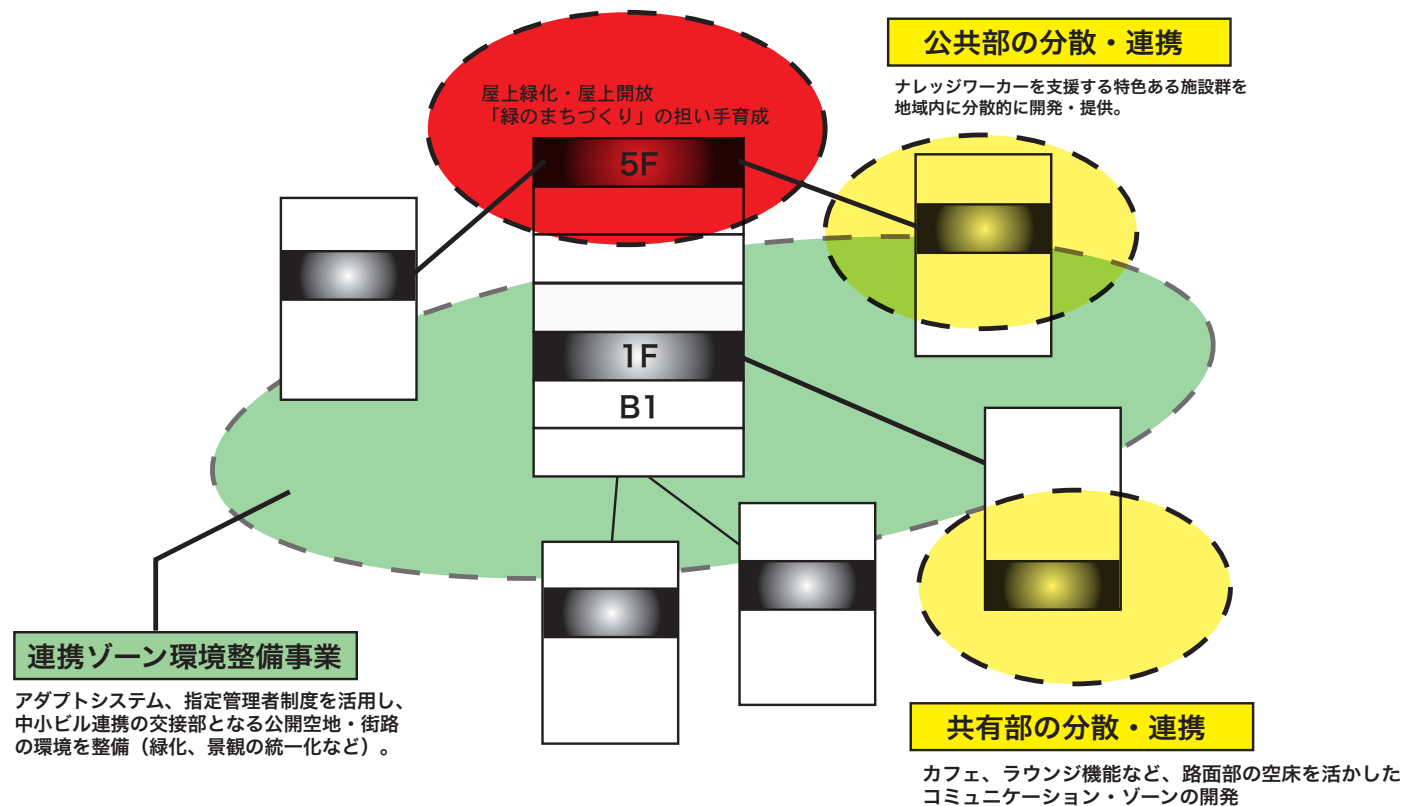
5階会議室の稼働状況は大幅に改善され、施設運営上は喜ばしいことだが、施設予約が困難な状況が続いている。顧客（住民）満足度の観点から何らかの対応が必要ではないか。

[まちづくり、産業振興、コミュニティ振興]に係る各種一般公開型セミナー、勉強会など

- ▶ 施設や地域の情報発信力、メッセージ性を高める戦略資源と位置づけ、**積極的な広報支援**を実施。

非公開型の会議・セミナーなど

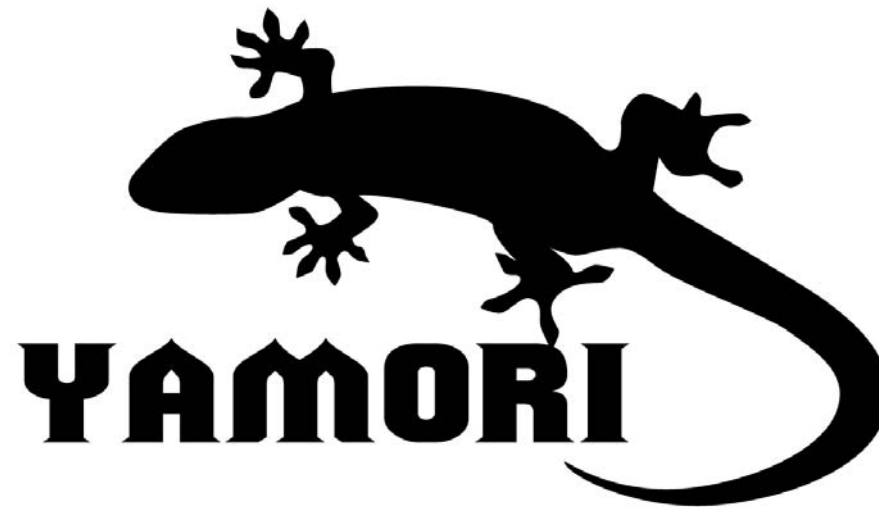
- ▶ 会議の高い生産性を実現する先進的なモデル施設・設備などを開発・誘致し、公共部を地域的に分散・連携化させることで、**点と点を結び、線から面へと施策を展開・深化**させる。





プラットフォームとは「何らかの機能や仕組みによって利用する者の利便性を向上させる共通基盤」を意味する言葉です。当社の経営理念・経営ビジョンは、社名に示すとおり様々な「プラットフォーム」を開発し、サービスとして提供していくこと。より具体的には、創造的な新しいライフスタイル、ワークスタイルの実現を支援し、様々な協働が育まれる「場」を、その利用者（地域住民・企業等）の「共通基盤」として開発・提供していくことです。

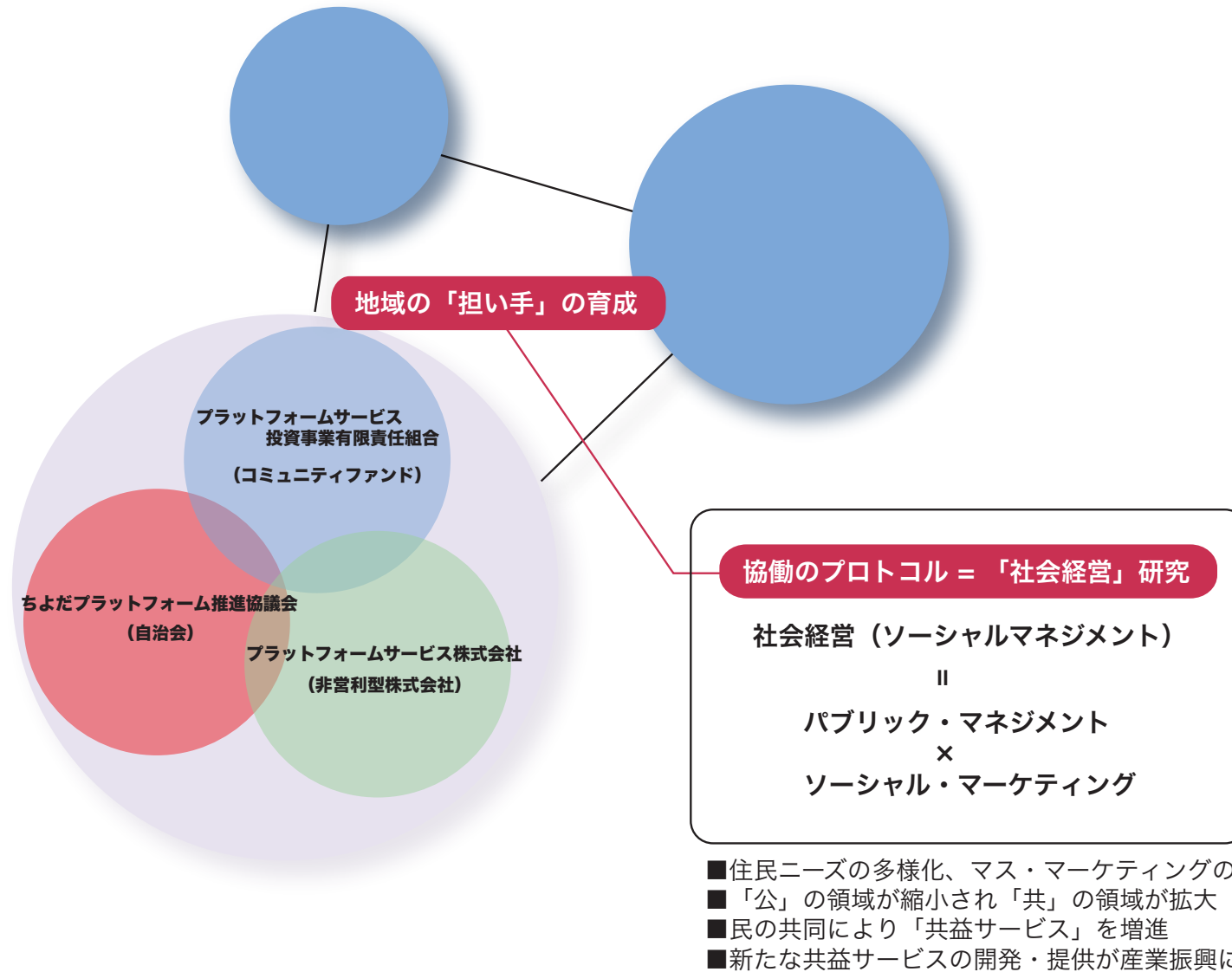
当社はこのような事業を、江戸文化に由来した「家守（やもり）」というキーワードを使って説明しています。



江戸のまちには「家守」と呼ばれ、地主に代わって土地や建物の管理を行い、全国から気のいい職人さんを探してきて長屋に誘致したり、職人さんが地域で快適に暮らし・働けるよう「読み書き・算盤」を教えるなど様々なサポートを行う人たちがいました。

「家守」は、このような仕事に加え、住民基本台帳の整備をしたり、下肥の処理を行うなど、今日行われている様々な行政事務の基礎となるような仕事も手掛け、お互いに連携しながら、幅広くタウンマネジメントに携わっていました。

私たちはこのような温故知新の考え方に倣い、現代版「家守」を旗印として官民協働による「まちづくり」= ソーシャル・マネジメント（社会経営）に取り組んでいます。



官民協働による社会経営のプラットフォーム構築に向けて

